



2021 年 4 月 30 日

2021 年度 第 1 四半期 決算レポート

1-3 月実績（対 2020 年）

- ・ 売上収益は 5.3%増の 5,474 億円
- ・ 全社為替一定調整後営業利益は 27.2%増の 1,869 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 21.3%増の 1,781 億円
- ・ 営業利益は 24.2%増の 1,601 億円
- ・ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は 31.7%増の 1,138 億円

財務数値の詳細については P.10「データシート」をご参照ください。

代表取締役社長 寺島 正道 CEO コメント:

“JT グループは、この第 1 四半期、多くの市場で紙巻たばこのシェアを引き続き伸長させており、好調なモメンタムを維持しています。また、一時的に総需要が強く推移した成熟市場があったことも追い風となり、非常に力強い実績となりました。

2 月にお知らせした通り、我々は heated tobacco sticks に経営資源を集中しており、次世代型の製品である Ploom X の下期における上市に向け、準備を進めています。また、2022 年からのたばこ事業一本化に向けた新たな組織運営体制の検討についても、プラン通り順調に進んでおります。

力強い第 1 四半期の実績を背景に、通期見込の着実な達成を目指していきますが、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより事業環境は楽観視できない状況であり、引き続き注視してまいります。”

Heated tobacco sticks : 高温加熱型の加熱式たばこ

Ploom X : プルーム・エックス

投資家説明会

投資家説明会（電話会議）は、2021年4月30日、東京時間 17時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>

超インフレ会計適用及びハイパーインフレーションに伴う調整について

当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの 2021 年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021 年度第 1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

2021 年度 第 1 四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2020 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
売上収益	5,196	5,474	+5.3%
調整後営業利益	1,469	1,781	+21.3%
営業利益	1,290	1,601	+24.2%
四半期利益（親会社所有者帰属）	864	1,138	+31.7%
為替一定ベース 調整後営業利益	1,469	1,869	+27.2%

2021 年 1-3 月

- **売上収益**
 売上収益については、国内たばこ事業、医薬事業及び加工食品事業での減収を海外たばこ事業における増収が上回り、前年同期比 5.3%増の 5,474 億円となりました。
- **調整後営業利益**
 為替一定ベースの調整後営業利益については、医薬事業及び加工食品事業において減少したものの、海外たばこ事業及び国内たばこ事業での増加により、前年同期比 27.2%増の 1,869 億円となりました。
 財務報告ベースでは、海外たばこ事業においてネガティブな為替影響を受けたものの、21.3%増の 1,781 億円となりました。
- **営業利益**
 営業利益については、調整後営業利益の増益により前年同期比 24.2%増の 1,601 億円となりました。
- **親会社の所有者に帰属する四半期利益**
 四半期利益については、営業利益の増益及び金融損益の改善等により、前年同期比 31.7%増の 1,138 億円となりました。

当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの 2021 年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021 年度第 1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

事業別実績

海外たばこ事業

(億本、億円)	2020 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
総販売数量	1,041	1,102	+5.8%
GFB 販売数量	675	737	+9.1%
自社たばこ製品売上収益 ¹	3,120	3,490	+11.8%
調整後営業利益 ¹	1,041	1,336	+28.4%

参考：ドルベース（百万ドル）

自社たばこ製品売上収益 ¹	2,866	3,284	+14.6% (+14.0%)*
調整後営業利益 ¹	956	1,258	+31.6% (+36.9%)*

*為替一定ドルベース

2021 年 1-3 月

• 販売数量及び市場シェア²

流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、市場シェアの伸長及び台湾、英国といった市場で渡航者数の減少が総需要に対してポジティブに作用したこと等により、前年同期比 5.2%の増加となりました。3 カ月平均市場シェアについては、オーストリア・カナダ・チェコ・フランス・ドイツ・ハンガリー・イタリア・カザフスタン・フィリピン・ポーランド・ルーマニア・ロシア・スペイン・台湾・トルコ・英国・ウクライナといった市場で特に伸長を確認しました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、ウィンストン(+9.4%)・キャメル(+11.4%)・LD(+7.9%)・メビウス(+1.2%)がそれぞれ伸長したことにより、前年同期と比べそれぞれ 5.8%、9.1%の増加となりました。

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益¹

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、ネガティブな為替影響があったものの、ポジティブな数量差及び単価差/商品構成影響により、前年同期比でそれぞれ 11.8%、28.4%の増加となりました。

ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響+214 百万ドル及びドイツ・イラン・ヨルダン・カザフスタン・フィリピン・ロシア・ウクライナ等の市場で発現した単価差/商品構成影響+187 百万ドルにより、前年同期比で 14.0%の増加となりました。ドルベースの為替一定調整後営業利益については、RRP カテゴリーにおける heated tobacco sticks に関する投資が増加したものの、ポジティブな数量差影響+148 百万ドル及び単価差/商品構成影響+182 百万ドルにより、前年同期比で 36.9%の増加となりました。財務報告ベースのドルベース自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、前年同期比でそれぞれ 14.6%、31.6%の増加となりました。

South and West Europe

(億本, 百万ドル)	2020 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
総販売数量	177	181	+2.0%
GFB 販売数量	147	154	+4.8%
自社たばこ製品売上収益	546	593	+8.6% (-0.5%)*

*為替一定ドルベース

• 販売数量及び市場シェア²

流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、複数市場における 3 ヶ月平均市場シェアの伸長により、前年同期比で 5.6%の増加となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、ウinston (+10.5%) が牽引したことにより、それぞれ 2.0%、4.8%の増加となりました。市場シェアはベルギー・フランス・ギリシャ・イタリア・ルクセンブルク・オランダ・スペイン・スイスにおいて伸長しました。

• 自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益は、単価差/商品構成影響▲5 百万ドルがあったものの、為替影響+50 百万ドル及び数量差影響+3 百万ドルにより、前年同期比で 8.6%増加しました。為替影響を除いた場合、前年同期比で 0.5%の減少となりました。

• 市場別実績²

フランスにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、3 ヶ月平均市場シェアが伸長 (+3.6 パーセントポイント) したことにより、前年同期と比べ 14.3%の増加となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量、紙巻たばこ販売数量及び Fine Cut の販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 16.6%、16.8%、15.8%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響がネガティブな単価差/商品構成影響を上回り、前年同期と比べ増加しました。市場シェアはウinston、キャメルが牽引し、前年同期と比べ 3.4 パーセントポイント増加し 27.7%となりました。

イタリアにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、総需要が減少したものの、3 ヶ月平均市場シェアの伸長 (+0.9 パーセントポイント) により、前年同期と比べて 1.8%の増加となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び紙巻たばこ販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 6.0%、7.4%減少し、Fine Cut の販売数量は 4.0%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響がポジティブな単価差/商品構成影響を上回り、前年同期と比べ減少しました。市場シェアは、ウinstonが牽引し、前年同期と比べ 1.2 パーセントポイント増加し 25.8%となりました。

スペインにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、3 ヶ月平均市場シェアが伸長(+1.5 パーセントポイント)したものの、渡航者数の減少により総需要が 10%以上減少したことから、前年同期と比べて 1.2%の減少となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び紙巻たばこ販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 8.8%、11.6%減少し、Fine Cut の販売数量は 2.4%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。市場シェアは、ウinstonとキャメルが牽引し、前年同期と比べ 1.1 パーセントポイント増加し 26.9%となっています。

North and Central Europe

(億本, 百万ドル)	2020 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
総販売数量	142	158	+11.6%
GFB 販売数量	74	87	+18.1%
自社たばこ製品売上収益	547	671	+22.6% (+13.3%)*

*為替一定ドルベース

- **販売数量及び市場シェア²**

総販売数量は、特にドイツ、ポーランド、英国等において 3 ヶ月平均市場シェアの伸長及び新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響が総需要に対してポジティブに作用したことにより、前年同期比 11.6%の増加となりました。GFB 販売数量は、ウinston（+26.6%）、キャメル（+12.0%）、LD（+2.6%）が牽引し、18.1%増加しました。市場シェアは、オーストリア・チェコ・ドイツ・ハンガリー・アイルランド・ポーランド・スウェーデン・英国で伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、数量差影響+63 百万ドル及び単価差/商品構成影響+9 百万ドルにより、前年同期比 22.6%の増加となりました。為替影響+51 百万ドルを除いた場合、前年同期比 13.3%の増加となりました。

- **市場別実績²**

ドイツにおける総販売数量、紙巻たばこ販売数量及び Fine Cut の販売数量は、3 ヶ月平均市場シェアが伸長（+0.8 パーセントポイント）したことにより、前年同期比でそれぞれ 13.7%、18.9%、10.3%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。市場シェアは、ウinstonが牽引し、前年同期と比べ 0.7 パーセントポイント増加し 9.2%となりました。

英国における総販売数量は、3 ヶ月平均市場シェアの伸長（+0.6 パーセントポイント）及び渡航者数の減少が総需要に対してポジティブに作用したことにより、前年同期比で 9.4%の増加となりました。Fine Cut の販売数量は、前年同期比で 22.1%増加したものの、紙巻たばこ販売数量は、前年同期と比べ 2.3%の減少となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響がネガティブな単価差/商品構成影響を上回り、前年同期と比べ増加しました。市場シェアは、紙巻たばこにおけるベンソン&ヘッジス Blue、Fine Cut におけるアンバーリーフ及びスターリングが牽引し、前年同期と比べ 0.9 パーセントポイント増加し 44.8%となりました。

CIS+

(億本, 百万ドル)	2020 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
総販売数量	268	291	+8.8%
GFB 販売数量	182	208	+14.1%
自社たばこ製品売上収益	637	717	+12.6% (+21.5%)*

*為替一定ドルベース

• 販売数量及び市場シェア²

流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、複数市場における 3 カ月平均市場シェアの伸長により、前年同期比 1.1%の増加となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期比でそれぞれ 8.8%、14.1%の増加となりました。市場シェアはカザフスタン・ルーマニア・セルビア・ウクライナで伸長しました。

• 自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益は、数量差影響+84 百万ドル及び単価差/商品構成影響+53 百万ドルにより、前年同期比 12.6%の増加となりました。為替影響▲57 百万ドルを除いた場合、前年同期比 21.5%の増加となりました。

• 市場別実績²

ルーマニアにおける総販売数量は、3 カ月平均市場シェアの伸長（+1.0 パーセントポイント）により、前年同期に比べ 2.2%増加しました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。市場シェアは、ウィンストン、キャメル、ソプラニーが牽引し、前年同期と比べて 1.1 パーセントポイント増加し 29.4%に達しました。

ロシア³における流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、LD 及びキャメルに牽引され 3 カ月平均紙巻たばこ市場シェアが伸長したことにより、前年同期と比べ 3.7%増加しました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期比でそれぞれ 16.5%、29.9%の増加となりました。紙巻総需要⁴は、増税に伴う値上げ後の製品の流通に先がけて底堅く推移したことに加え、不法取引が減少したことにより、1.5%程度の減少に留まったものと推察しております。なお、heated tobacco sticks の取扱販売店数は、引き続き増加しています。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。市場シェアは、2020 年 10-12 月期より増加しているものの、前年同期比では減少し、36.3%となりました。

Rest-of-the-World

(億本, 百万ドル)	2020 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
総販売数量	455	472	+3.7%
GFB 販売数量	273	288	+5.6%
自社たばこ製品売上収益 ¹	1,136	1,303	+14.6% (+17.1%)*

*為替一定ドルベース

- **販売数量及び市場シェア²**

流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、渡航者数減少による免税販売への影響があったものの、3 か月平均市場シェアの伸長により、前年同期比 5.3%の増加となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量は、前年同期比 3.7%の増加となりました。GFB 販売数量は、ウinston（+10.2%）、LD（+7.7%）が牽引し、前年同期比 5.6%の増加となりました。市場シェアは、アルジェリア・ブラジル・カナダ・ヨルダン・フィリピン・サウジアラビア・シンガポール・韓国・スーダン・台湾・米国といった多くの市場で伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益¹**

自社たばこ製品売上収益は、数量差影響+64 百万ドル及び単価差/商品構成影響+131 百万ドルにより、前年同期と比べ 14.6%増加しました。為替影響▲28 百万ドルを除いた場合、前年同期比 17.1%の増加となりました。

- **市場別実績²**

イランにおける総販売数量は、堅調な総需要動向により、前年同期比 3.1%の増加となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は、ウinston、キャメル伸長により、前年同期比 4.0%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。市場シェアは、前年同期と比べ 0.4 パーセントポイント減少し 59.2%となりました。

台湾における総販売数量は、GFB が牽引した 3 か月平均市場シェアの伸長（+1.2 パーセントポイント）及び渡航者数の減少が総需要に対してポジティブに作用したことにより、前年同期比 12.7%の増加となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は、前年同期比 12.2%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。市場シェアは、LD、メビウス、ウinstonが牽引し、前年同期比 2.2 パーセントポイント増加し 48.0%となりました。

トルコにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期との有利な比較及び 3 か月平均市場シェアの伸長（+0.7 パーセントポイント）により、前年同期比 11.2%の増加となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた場合の総販売数量は、ウinstonの伸長により、前年同期比 0.4%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。市場シェアは、2020 年 10-12 月期に比べて伸長したものの、前年同期と比べ 0.7 パーセントポイント減少し、26.8%となりました。

¹。当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの 2021 年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021 年度第 1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

² 出典：IRI、Logista、Nielsen、Panel Strator 及び JTI 内部データ。特に言及がない限り 2021 年 3 月末時点の 12 か月移動平均及び 3 か月平均ベースで、対象は紙巻たばこ及び Fine Cut。スヌースを除く。また、アルジェリア・カナダ・フランス・ドイツ・ギリシャ・ハンガリー・イラン・イタリア・カザフスタン・ルーマニア・スペイン・英国・ウクライナ・米国に関するデータは 2021 年 2 月末時点の 12 か月移動平均及び 2 か月平均ベース。12 か月移動平均及び 3 か月平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期末時点の 12 か月移動平均及び 3 か月平均ベース。

³2021 年 1-3 月期より、ロシアにおける販売数量及び市場シェアは、紙巻たばこ及び heated tobacco sticks を含みます。これに伴い 2020 年データについても同様に変更しています。

⁴ 出典：JTI 内部データ。紙巻たばこ及び heated tobacco sticks を対象とする 2021 年 1-3 月期の対前年同期比較。

国内たばこ事業

(億本, 億円)	2020 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
紙巻総需要 ⁵	288	250	-13.0%
紙巻販売数量	172	149	-13.3%
自社たばこ製品売上収益	1,258	1,241	-1.4%
調整後営業利益	432	480	+11.1%

2021 年 1-3 月

・ 紙巻販売数量

紙巻総需要⁵は、趨勢減に加え、RRP 市場の拡大、定価改定影響及び新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響により、前年同期比 13.0%の減少となりました。

当社の紙巻販売数量は、総需要の減少を主因として、前年同期比 13.3%の減少となりました。

当社の紙巻シェア⁵については、RRP 製品への移行及びダウントレードによる低価格帯での競争激化により、前年同期比 0.2 パーセントポイント減の 59.5%となりましたが、2020 年 10-12 月期と比べた場合上昇しております。

・ RRP 販売実績

国内たばこ市場における RRP 総需要⁶は、前年同期比 13 億本増の 106 億本となり、市場占有率は、29.7%（出荷ベース）と推計しています。

当社の RRP 販売数量は、前年同期比 2 億本増の 10 億本となりました。出荷ベースの当社の RRP カテゴリー内シェア⁵は 9.8%と推計しております。

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、紙巻単価上昇効果+123 億円、RRP 関連売上収益の増加があったものの、紙巻販売数量の減少影響▲145 億円及び国内免税・中国事業の販売減少等により、前年同期比 1.4%の減収となりました。RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量の増加及びデバイスの販売数量増加等により、前年同期比 18 億円増の 147 億円となっております。

調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少影響▲121 億円及び国内免税・中国事業の販売減少等があったものの、紙巻単価上昇効果+123 億円、RRP 販売数量の増加及び販促費の減少により、前年同期比 11.1%の増益となりました。

⁵ 出典：JT 推計。当社公表の紙巻総需要及び紙巻シェアには、紙巻たばこに加え、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類されるリトルシガーが含まれております。

⁶ 出典：JT 推計。当社公表の RRP 総需要は、日本市場全体における RRP の本数ベース(1 パック当たり紙巻きたばこ 20 本として換算)の市場規模となります。デバイス/関連アクセサリ等は含まれません。

医薬事業

(億円)	2020 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
売上収益	207	197	-5.2%
調整後営業利益	66	42	-35.7%

2021 年 1-3 月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、海外ロイヤリティ収入の減少等により、前年同期比 5.2%の減収となりました。

調整後営業利益については、売上収益の減少及び当社の連結子会社である鳥居薬品の減益等により、前年同期比 35.7%の減益となりました。

加工食品事業

(億円)	2020 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
売上収益	367	338	-8.0%
調整後営業利益	4	3	-22.2%

2021 年 1-3 月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛等の影響を引き続き受け、冷食・常温事業における外食向け製品の販売減少に加え、前年同期に一時的に増加した同事業の家庭用製品の需要が相対的に減少したこと等により、前年同期比 8.0%の減収となりました。

調整後営業利益については、コスト低減等があったものの、売上収益の減少等により、前年同期比 22.2%の減益となりました。

データシート

2021年度 第1四半期実績

当社グループは、2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021年度Q1から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2020 Q1	2021 Q1	増減	増減率
売上収益	5,196	5,474	+277	+5.3%
営業利益	1,290	1,601	+312	+24.2%
調整後営業利益	1,469	1,781	+312	+21.3%
税引前利益	1,151	1,563	+412	+35.8%
四半期利益	869	1,140	+272	+31.3%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	864	1,138	+274	+31.7%
基本的EPS* (円)	48.69	64.13	+15.44	+31.7%

*親会社の所有者に帰属する四半期利益を基に算定

(参考) 全社

(単位：億円)

	2020 Q1	2021 Q1	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	1,469	1,869	+400	+27.2%

2. 事業セグメント別実績

(単位：億円)

	2020 Q1	2021 Q1	増減	増減率
全社 売上収益	5,196	5,474	+277	+5.3%
国内たばこ事業	1,351	1,333	-18	-1.3%
自社たばこ製品売上収益	1,258	1,241	-17	-1.4%
海外たばこ事業	3,262	3,602	+341	+10.4%
自社たばこ製品売上収益	3,120	3,490	+370	+11.8%
医薬事業	207	197	-11	-5.2%
加工食品事業	367	338	-30	-8.0%
その他	9	3	-5	-62.0%
全社 営業利益	1,290	1,601	+312	+24.2%
国内たばこ事業	392	440	+48	+12.2%
海外たばこ事業	897	1,210	+313	+34.9%
医薬事業	66	42	-23	-35.7%
加工食品事業	4	-7	-12	-
その他/消去	-69	-83	-14	-
調整合計	-179	-180	-0	
国内たばこ事業	-41	-41	-0	
海外たばこ事業	-144	-126	+17	
医薬事業	-0	0	+0	
加工食品事業	-0	-11	-11	
その他/消去	5	-2	-7	
全社 調整後営業利益	1,469	1,781	+312	+21.3%
国内たばこ事業	432	480	+48	+11.1%
海外たばこ事業	1,041	1,336	+296	+28.4%
医薬事業	66	42	-24	-35.7%
加工食品事業	4	3	-1	-22.2%
その他/消去	-74	-81	-7	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2020 Q1	2021 Q1	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	2,866	3,284	+417	+14.6%
為替一定自社たばこ製品売上収益	2,866	3,268	+401	+14.0%
調整後営業利益	956	1,258	+302	+31.6%
為替一定調整後営業利益	956	1,308	+353	+36.9%

2021年度 第1四半期実績

3. 減価償却費及び償却費*

(単位：億円)

	2020 Q1	2021 Q1	増減
全社 減価償却費及び償却費	417	400	-17
国内たばこ事業	135	125	-10
海外たばこ事業	247	244	-3
医薬事業	13	12	-1
加工食品事業	17	15	-1
その他/消去	5	4	-2

*リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ

(単位：億円)

	2020年12月末	2021年3月末	増減
資産合計	53,814	53,982	+168
資本合計	25,995	27,053	+1,058
親会社の所有者に帰属する持分	25,228	26,286	+1,058
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	1,421.92	1,481.52	+59.60

5. 手元流動性及び有利子負債

(単位：億円)

	2020年12月末	2021年3月末	増減
手元流動性	5,483	4,354	-1,129
有利子負債	9,589	9,993	+404

6. 連結キャッシュフロー・データ

(単位：億円)

	2020 Q1	2021 Q1	増減
営業キャッシュフロー	-19	124	+143
投資キャッシュフロー	-75	-224	-149
財務キャッシュフロー	-311	-1,274	-963
現金及び現金同等物の期首残高	3,572	5,388	+1,817
現金及び現金同等物に係る換算差額等	-155	230	+385
現金及び現金同等物の期末残高	3,011	4,243	+1,232
FCF	-113	-94	+18

7. 資本的支出

(単位：億円)

	2020 Q1	2021 Q1	増減
資本的支出	266	171	-95
国内たばこ事業	48	29	-18
海外たばこ事業	109	93	-16
医薬事業	75	18	-58
加工食品事業	22	23	+2
その他/消去	12	7	-5

8. 為替

	2020 Q1	2021 Q1	増減	増減率
USドル/円	108.86	106.09	-2.77	2.5%高
USドル/RUB	66.33	74.34	+8.01	10.8%安
USドル/GBP	0.78	0.73	-0.06	7.8%高
USドル/EUR	0.91	0.83	-0.08	9.4%高
USドル/CHF	0.97	0.90	-0.06	7.1%高
USドル/TWD	30.11	28.07	-2.04	7.3%高
USドル/TRY	6.10	7.37	+1.27	17.2%安
USドル/IRR	128,673		*	

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

*超インフレ経済下にある子会社の財務諸表をUSドルへ換算する際には2021年3月末日レートを採用。

また、USドルから日本円へ換算する際も同様のレートを採用。（USドル/IRR：229,510、USドル/円：110.71）

2021年度見込
(2021/2/9公表)

当社グループは、2020年度Q3より超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2020年度実績及2021年度見込みについて会計上の調整を加えております。

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2020年度 実績	2021年度 見込	増減	増減率
売上収益	20,926	20,800	-126	-0.6%
営業利益	4,691	3,630	-1,061	-22.6%
調整後営業利益	4,870	4,750	-120	-2.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,103	2,400	-703	-22.6%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2020年度 実績	2021年度 見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	4,870	5,120	+250	+5.1%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2020年度 実績	2021年度 見込	増減	増減率
基本的EPS*	174.88	135.30	-39.57	-22.6%
1株当たり配当金	154	130	-24.00	-15.6%
ROE*	12.0%	9.6%	-2.4%pt	

*基本的EPS/ROEは親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2020年度 実績	2021年度 見込	増減	増減率
全社 売上収益	20,926	20,800	-126	-0.6%
国内たばこ事業	5,556	5,600	+44	+0.8%
自社たばこ製品売上収益	5,157	5,200	+43	+0.8%
海外たばこ事業	13,062	12,900	-162	-1.2%
自社たばこ製品売上収益	12,508	12,300	-208	-1.7%
医薬事業	790	765	-25	-3.1%
加工食品事業	1,493	1,510	+17	+1.1%
その他	25	30	+5	+21.3%
全社 営業利益	4,691	3,630	-1,061	-22.6%
国内たばこ事業	1,518	1,230	-288	-19.0%
海外たばこ事業	2,964	2,800	-164	-5.5%
医薬事業	165	70	-95	-57.5%
加工食品事業	-8	20	+28	-
その他/消去	51	-490	-541	-
全社 調整後営業利益	4,870	4,750	-120	-2.5%
国内たばこ事業	1,681	1,760	+79	+4.7%
海外たばこ事業	3,409	3,320	-89	-2.6%
医薬事業	172	70	-102	-59.2%
加工食品事業	-8	30	+38	-
その他/消去	-384	-430	-46	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2020年度 実績	2021年度 見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	11,724	11,900	+176	+1.5%
為替一定自社たばこ製品売上収益	11,724	11,850	+126	+1.1%
調整後営業利益	3,181	3,220	+39	+1.2%
為替一定調整後営業利益	3,181	3,450	+269	+8.4%

**2021年度見込
(2021/2/9公表)**

4. FCF (単位：億円)

	2020年度 実績	2021年度 見込	増減
FCF	5,039	3,150	-1,889

5. 資本的支出 (単位：億円)

	2020年度 実績	2021年度 見込	増減
資本的支出	1,129	1,475	+346
国内たばこ事業	211	300	+89
海外たばこ事業	666	920	+254
医薬事業	91	50	-41
加工食品事業	80	145	+65
その他/消去	82	60	-22

6. 業績予想の主な前提条件

- 国内たばこ事業
 - ・ 2021年の国内たばこ総需要(自社推計)：対前年で4%台前半の減少(2020年の国内たばこ総需要は推計1,550億本)
 - ・ 2021年の国内紙巻たばこ総需要(自社推計)：対前年で8%台前半の減少(2020年の国内紙巻たばこ総需要は1,149億本)
 - ・ 2021年のJT紙巻販売数量：対前年で7%台後半の減少(2020年のJT紙巻販売数量は687億本)
 - ・ RRP市場占有率(自社推計,出荷ベース)：2021年は通年で20%台後半(2020年は通年で約26%)
 - ・ 2021年のJT RRP販売数量：紙巻換算で40億本台後半
- 海外たばこ事業
 - ・ 2021年の総販売数量：対前年で3%台半ばの減少(2020年の総販売数量は4,357億本)
 - ・ 2021年のGFB販売数量：対前年で1%程度の減少(2020年のGFB販売数量は2,820億本)

<為替前提レート>

	2020年度 実績	2021年度 見込	増減	増減率
USドル/円	106.76	103.00	-3.76	3.5%高
USドル/RUB	72.07	76.00	+3.93	5.2%安
USドル/GBP	0.78	0.74	-0.04	5.4%高
USドル/EUR	0.88	0.82	-0.06	7.0%高
USドル/CHF	0.94	0.90	-0.04	4.4%高
USドル/TWD	29.47	29.00	-0.47	1.6%高
USドル/TRY	7.01	8.00	+0.99	12.4%安

<為替感応度>

前提レートからの為替変動が利益に与える影響：2021年調整後営業利益 3,220百万ドル(算定ベース)

- ・ ドルに対して円以外の全ての通貨が、2021年前提レートに対して同じ方向に1%変動すると、
2021年ドルベースAOPが54百万ドル程度変動
- ・ 54百万ドル程度の変動を構成する主な通貨および内訳
 - RUB 20%程度、GBP 15%強、TWD 15%程度、EUR 10%強、TRY 5%弱、CHF -10%程度
- ・ 円換算時は円がドルに対して1円変動すると、円ベース調整後営業利益が33億円程度変動

たばこ事業データ

海外たばこ事業

1. サマリー

当社グループは、2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021年度Q1から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

	2020 Q1	2021 Q1	増減	増減率	
総販売数量	1,041	1,102	+60	+5.8%	億本
GFB販売数量	675	737	+61	+9.1%	億本
自社たばこ製品売上収益	3,120	3,490	+370	+11.8%	億円
調整後営業利益	1,041	1,336	+296	+28.4%	億円

[参考：ドルベース]

自社たばこ製品売上収益	2,866	3,284	+417	+14.6%	百万ドル
調整後営業利益	956	1,258	+302	+31.6%	百万ドル

為替一定ベース

自社たばこ製品売上収益	2,866	3,268	+401	+14.0%	百万ドル
調整後営業利益	956	1,308	+353	+36.9%	百万ドル

・クラスター別構成比 (前年同期比)

(億本/百万ドル)

財務報告ベース

2021	総販売数量		GFB販売数量		自社たばこ製品売上収益	
SWE	181	+2.0%	154	+4.8%	593	+8.6%
NCE	158	+11.6%	87	+18.1%	671	+22.6%
CIS+	291	+8.8%	208	+14.1%	717	+12.6%
RoW	472	+3.7%	288	+5.6%	1,303	+14.6%
Total	1,102		737		3,284	

2. クラスター/市場別 総販売数量 (前年同期比)

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+2.0%				+2.0%
France	+16.6%				+16.6%
Italy	-6.0%				-6.0%
Spain	-8.8%				-8.8%
NCE	+11.6%				+11.6%
Germany	+13.7%				+13.7%
UK	+9.4%				+9.4%
CIS+	+8.8%				+8.8%
Romania	+2.2%				+2.2%
Russia*	+16.5%				+16.5%
RoW	+3.7%				+3.7%
Iran	+3.1%				+3.1%
Taiwan	+12.7%				+12.7%
Turkey	+0.4%				+0.4%
Total	+5.8%				+5.8%

*2021年1-3月期より、ロシアにおける販売数量は、紙巻きたばこ及びheated tobacco sticksを含みます。これに伴い2020年データについても同様に変更しています。

3. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
Winston	412				412
	+9.4%				+9.4%
Camel	160				160
	+11.4%				+11.4%
MEVIUS	40				40
	+1.2%				+1.2%
LD	124				124
	+7.9%				+7.9%

たばこ事業データ

4. クラスター/市場別 GFB販売数量 (前年同期比)

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+4.8%				+4.8%
France	+19.2%				+19.2%
Italy	-5.3%				-5.3%
Spain	-4.6%				-4.6%
NCE	+18.1%				+18.1%
Germany	+14.5%				+14.5%
UK	-12.4%				-12.4%
CIS+	+14.1%				+14.1%
Romania	+0.9%				+0.9%
Russia	+29.9%				+29.9%
RoW	+5.6%				+5.6%
Iran	+6.8%				+6.8%
Taiwan	+10.4%				+10.4%
Turkey	+1.3%				+1.3%
Total	+9.1%				+9.1%

5. 主要市場別シェア

	12ヶ月移動平均			3ヶ月平均			
	2020 3月	2021 3月	増減	2020 Q1	2020 Q2	2020 Q3	2021 Q1
France	24.3%	27.7%*	+3.4%pt	25.1%	27.2%	27.6%	28.8%*
Italy	24.7%	25.8%*	+1.2%pt	25.1%	25.3%	26.2%	26.0%*
Russia**	37.7%	36.3%	-1.4%pt	36.6%	36.2%	35.8%	36.7%
Spain	25.8%	26.9%*	+1.1%pt	26.0%	26.2%	27.0%	27.5%*
Taiwan	45.9%	48.0%	+2.2%pt	46.9%	47.5%	48.0%	48.1%
Turkey	27.5%	26.8%	-0.7%pt	26.9%	26.3%	26.5%	27.5%
UK	43.9%	44.8%*	+0.9%pt	44.3%	44.7%	44.8%	44.9%*

Source: IRI, Nielsen, Logista, Panel Strator / 出典の過去データ修正も反映しています。

*2021年2月時点の、12ヶ月移動平均および2ヶ月平均を採用しています。

**2021年1-3月期より、ロシアにおける市場シェアは、紙巻きたばこ及びheated tobacco sticksを含みます。これに伴い、2020年データについても変更しています。

6. クラスター別 為替一定自社たばこ製品売上収益 (前年同期比)

(百万ドル)

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	543				543
	-0.5%				-0.5%
NCE	620				620
	+13.3%				+13.3%
CIS+	774				774
	+21.5%				+21.5%
RoW	1,331				1,331
	+17.1%				+17.1%
Total	3,268				3,268
	+14.0%				+14.0%

たばこ事業データ

7. 要因別 自社たばこ製品売上収益実績

当社グループは、2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021年度Q1から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。また、ロードマップ上の為替影響には、従来の為替影響に加え、これらの影響も含まれます。

・ドルベース		(百万ドル)				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2020	2,866				2,866	
数量差	+214				+214	
価格差/Mix	+187				+187	
2021 為替一定	3,268				3,268	
FX	+16				+16	
2021	3,284				3,284	

・円ベース		(億円)				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2020	3,120				3,120	
Operations	+437				+437	
現地通貨 vs. 米ドル	+17				+17	
円 vs. 米ドル	-85				-85	
2021	3,490				3,490	

8. 要因別 調整後営業利益実績

当社グループは、2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021年度Q1から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。また、ロードマップ上の為替影響には、従来の為替影響に加え、これらの影響も含まれます。

・ドルベース		(百万ドル)				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2020	956				956	
数量差	+148				+148	
価格差/Mix	+182				+182	
その他	+22				+22	
2021 為替一定	1,308				1,308	
FX	-50				-50	
2021	1,258				1,258	

・円ベース		(億円)				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2020	1,041				1,041	
Operations	+384				+384	
現地通貨 vs. 米ドル	-55				-55	
円 vs. 米ドル	-33				-33	
2021	1,336				1,336	

9. 実績為替レート (前年同期比)

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
USD/RUB	74.34 10.8%安				74.34 10.8%安
USD/GBP	0.73 7.8%高				0.73 7.8%高
USD/EUR	0.83 9.4%高				0.83 9.4%高
USD/CHF	0.90 7.1%高				0.90 7.1%高
USD/TWD	28.07 7.3%高				28.07 7.3%高
USD/TRY	7.37 17.2%安				7.37 17.2%安
USD/IRR	*				*
USD/JPY	106.09 2.5%高				106.09 2.5%高

現地通貨 vs USD増減率：(前年同期の現地通貨レート/各期の現地通貨レート) -1で算出

円 vs USD増減率：(各期のレート/前年同期のレート) -1で算出

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

*超インフ.経済下にある子会社の財務諸表をUSDへ換算する際には、2021年3月末日レートを採用。また、USDから日本円へ換算する際も同様のレートを採用。(3月末日レート USD/IRR：229,510、USD/円：110.71)

たばこ事業データ

国内たばこ事業

1. サマリー

	2020 Q1	2021 Q1	増減	増減率	
紙巻総需要（自社推計）	288	250	-37	-13.0%	億本
紙巻販売数量	172	149	-23	-13.3%	億本
紙巻販売数量には国内免税販売分・中国事業部分（2020年Q1実績：6億本、2021年Q1実績：4億本）およびRRP販売数量を含んでいません					
自社たばこ製品売上収益	1,258	1,241	-17	-1.4%	億円
調整後営業利益	432	480	+48	+11.1%	億円

2. 紙巻販売数量

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020	172	170	199	147	687
2021	149				
前年同期比増減率	-13.3%				

3. 紙巻千本当売上収益

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020	6,326	6,344	6,369	7,172	6,524
2021	7,155				

千本当売上収益 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税（国税） - たばこ税（地方税） - たばこ特別税（国税）) / 販売数量 x 1,000

4. 四半期別RRP製品関連計数

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2021					
RRP販売数量	10				10
RRP関連売上収益	147				147

5. 要因別 財務実績

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
自社たばこ製品売上収益					
2020	1,258				1,258
紙巻数量差	-145				-145
紙巻単価差	+123				+123
RRP/その他	+4				+4
2021	1,241				1,241
調整後営業利益					
2020	432				432
紙巻数量差	-121				-121
紙巻単価差	+123				+123
RRP/その他	+45				+45
2021	480				480

6. 紙巻シェア（出典 自社推計）

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
JT Total					
2020	59.7	60.1	60.2	59.0	59.8
2021	59.5				
MEVIUS					
2020	28.9	28.8	28.9	27.4	28.6
2021	27.6				
Winston					
2020	7.3	7.3	7.3	7.1	7.2
2021	7.1				
Seven Stars					
2020	7.5	7.5	7.6	7.1	7.4
2021	7.4				
Natural American Spirit					
2020	2.0	2.0	1.9	2.1	2.0
2021	2.1				

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2021年4月30日)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTE-052 (delgocitinib)	乳幼児アトピー性皮膚炎 /外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase3 (国内)	自社品	・鳥居薬品と共同開発
	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用			Phase1 (国内)		
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化 するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応 を抑制する	Phase2 (海外)	自社品	
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /外用	ROR γ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を 担うROR γ を阻害し、過剰な免疫反応を 抑制する	Phase1 (国内)	自社品	
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、高血糖を是正する	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及 び血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-761	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ROR γ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担 うROR γ を阻害し、過剰な免疫反応を 抑制する	Phase1 (海外)	自社品	

(※) 開発段階の表記は投薬開始を基準としています。

(※) 掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時(2021年2月9日)からの変更点

・JTT-751:「リオナ®錠」の日本国内における鉄欠乏性貧血の効能追加承認取得及びプロモーション開始

・JTE-052:「コレクチム®軟膏0.25%」及び「コレクチム®軟膏0.5%」の日本国内における製造販売承認取得等(小児アトピー性皮膚炎)

用語の定義

用語	定義
調整後営業利益	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目 (収益及び費用)* *調整項目 (収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース調整後営業利益 (全社)	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランド
総販売数量 (海外たばこ事業)	水たばこ/E-Vapor 製品/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek/加熱式たばこを含む
自社たばこ製品売上収益 (海外たばこ事業)	物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRP の売上を含む
為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益 (海外たばこ事業)	当期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要 (国内たばこ事業)	日本市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模 (自社推計) RRP やリトルシガーを含む。
紙巻総需要 (国内たばこ事業)	日本市場全体における紙巻たばこの本数ベースの市場規模 (自社推計) リトルシガーを含み、RRP 等を含まない
RRP 総需要 (国内たばこ事業)	日本市場全体における RRP の本数ベース (1 パック当たり紙巻きたばこ 20 本として換算)の市場規模 (自社推計) デバイス/関連アクセサリ等は含まない
紙巻販売数量 (国内たばこ事業)	国内免税販売及び中国事業の販売分を除く、JT 紙巻たばこの販売本数 リトルシガーを含み、RRP 等を含まない。
RRP 販売数量 (国内たばこ事業)	国内免税販売分を除く、JT の RRP の販売本数 (1 パック当たり紙巻たばこ 20 本として換算) デバイス/関連アクセサリ等は含まない
リトルシガー (国内たばこ事業)	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、紙巻たばこと同様の形態に巻き上げた製品。 たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される。
自社たばこ製品売上収益 (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP、リトルシガー関連の売上を含む
RRP 関連売上収益 (国内たばこ事業)	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む RRP の売上 (国内免税販売分の売上を含む)
手元流動性	手元流動性 = 現預金 + 短期保有の有価証券 + 現先
有利子負債	有利子負債 短期借入金 + コマーシャルペーパー + 長期借入金 + 社債
FCF	FCF = 営業活動 CF + 投資活動 CF ただし以下の項目を除外 - 営業活動 CF から、リース取引から生じる減価償却費、利息及び配当金の受取額とその税額影響、リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響、その他 - 投資活動 CF から、事業投資以外に係る、投資の取得による支出、投資の売却及び償還による収入、定期預金の預入による支出、定期預金の払出による収入、その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１）喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３）国内外の訴訟の動向
- （４）国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６）市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- （７）買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８）国内外の経済状況
- （９）為替変動及び原材料費の変動
- （１０）自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門4-1-1

投資家の皆様はこちら：jt.ir@jt.com

メディアの皆様はこちら：jt-kouhou@jt.com